

イタリアンデザインの美しさが宿る  
カスタムパーツ界の超新星

# 気鋭の旗手、誕生

4つのボディタイプを擁する16代目クラウンの長兄、クロスオーバーに対し、気鋭のブランド「バンディエラ」が提案するのは、新たなイメージを加えること。ベースを吟味した結果完成したのはグリルと内装パーツだった。

これまでの3ボックスセダンというイメージから脱却した新しいクラウンを物語るべく、2022

年7月にヴェールを脱いだ4つのボディタイプ。そのうちのひとつであるクロスオーバーは発表から間もない9月から発売が開始された、いわば新型クラウンの長兄である。グローバルモデルとして大型化したボディは、4ドアアクーペに近いファストバックスタイルを採用。そのフォルムは、新生クラウンを象徴するものとして受け入れられた。

クラウンといえば、カスタム界でも多くのユーザーに支持されるベース車でもある。クロスオーバーは大別するとSUVカテゴリとなったことでユーザーの間口も広がり、新たなブランドも参入。

そのひとつが、ここで紹介するバンディエラだ。

バンディエラとは、イタリア語で「旗」を意味する言葉で、既存の価値観にとらわれずに尖ったものを作り出していく旗頭になるという意味を込めて名付けられた。その狙いはブランドロゴにも現れていて、鋭い赤い矢のようなものが、これまでの枠組みを打ち破っていくイメージを表現。その形が奇しくもバンディエラの頭文字を表現しているようにも見えるのは、ブランドの強いメッセージともいえるかもしれない。

こうしてカーDIYをサポートするエーモンの新しい取り組みである、バンディエラクラウンクロスオーバーは誕生。そのディテールを次のページで紹介する。

Upcoming  
New Brand!

バンディエラ

# BANDIERA

問:エーモン ☎ 0790-22-6262 <https://bandiera-project.com>

Photos by ガンツ





ピアノブラックパネルと合わせて2026年6月に発売予定のレザーパネルセット。Aピラーと前後ドアの上部に貼るパネルによって、外から見える部分の質感を高める。パネルにはゴールドのステッチが施され、純正の雰囲気と統一感を持たせている。各パネルにはブランドロゴを刻印。ピアノブラックパネルとのフルセット（14万円前後）も用意する。

●8万円前後（予備）

Leather Panel



# まるで純正の上級グレードを 思わせる仕立てに見惚れる BANDIERA CROWN CROSSOVER





Grille Garnish

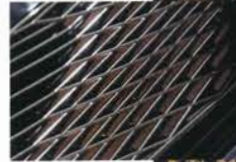
細かなメッシュ形状を採用するグリルガーニッシュは、周囲を“究極の黒”のパネルで引き締めることでデザインを強調。表面のメッシュ部は王冠マークに使われているほんのりとしたゴールドを意識。見る角度によって色の変化を楽しむ。また、格子の裏は緻密なラインで構成。深みのある印象を創出する。待望のパノラミックビューモニター対応モデルが6月発売開始。  
●14万8500円

# Upcoming New Brand! BANDIERA

バンディエラ

問:エーモン ☎0790-22-6262 <https://bandiera-project.com>

Photos by ガンツ



シユが重なるような意匠を採用。色味や形状など徹底的に吟味したもので、そこにたどり着いたのは、欧州車のカーデザインを手掛けるイタリアの企業とつながったのが大きい。

また、バンディエラのもうひとつの提案がインテリアだ。内装も過去のクラウンを想起しながら純正をじっくりと議論。もとかからレザーやピアノブラック、淡いゴールドの意匠などが取り入れられているもの、物足りなく感じられた部分にプラスするアイテムを用意。純正にもある淡いゴールドを取り入れるなど、ここにもイタリアンデザインのセンスが生きている。

上級グレードのような装いを得られるグリルガーニッシュもインテリアの各パネルも、自らの手で加えられるように設計されているのもバンディエラのこだわり。そこには、これまで様々なカーDIYの楽しみを提案してきたエーモンとしての想いが込められている。

新生クラウンクロスオーバーに、既存のものとは異なるイメージを加えられないかというテーマをもとにバンディエラでは様々なアイテムを検討。様々なアイディアの中から採用されたのが、グリルガーニッシュだ。

ヘアースとなるクラウンクロスオーバーを穴が開くほど観察。ブランドとして理解し、導き出したデザインは純正よりも細かなメッ

Piano Black Panel

ダッシュボード、センターコンソール、ドアハンドル、ウィンドウスイッチからなるピアノブラックパネルセット。もともとある淡いゴールドの意匠を消さすになじませるよう成型されており、まるで元からそうであったかのようなフィット感を実現。センターコンソールパネルには、ブランドロゴをレイアウト。6月初旬発売開始予定だ。  
●6万円前後(予価)

ワンオフのKW・V3レーシングでローダウンしたデモカーは、モデリスタ製ボディキットを装着。BBS・CI-Rアンリミテッド(21×8.5J)とミシュラン・eプライマシー(255/45R21)、ブレボGTキットなどでフットワークをコーディネートしている。

